



空間構成の視点から、魅力的な建物や居場所をつくるための方法論を研究し、設計・制作を実践しています。

略歴

1970年 香川県生まれ
1993年 東京工業大学工学部建築学科卒業
東京工業大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。同大学に技術補佐員、助手として勤務の後、2007年日本工業大学建築学科講師に着任。
生活環境デザイン学科准教授および教授を経て現在に至る。

所属学会など

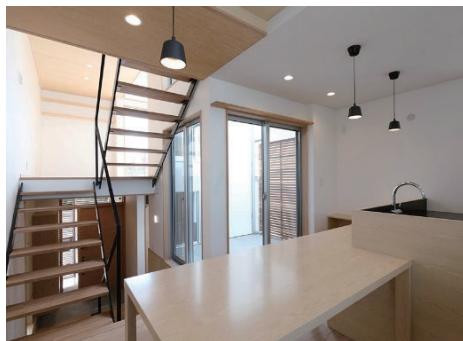
所属学会
・日本建築学会
学位・資格
・博士（工学）
・一級建築士

研究紹介

空間構成に関する研究とデザインの実践

空間構成に関する研究

建築を構成する要素や空間の関係に着目し、モデル化・体系化を行うような研究を行っています。それらを通して、既成の枠組みを超えてより幅広い視点で捉えた新しい建築を構想するための方法論を探求しています。



中町の家（個人住宅）



銀茶会の茶席「折鶴庵」



元気スタンド・ぷれいす（幸手団地）

建築設計・空間デザイン

人びとの居場所をつくる家具やしつらえ、個人の住宅、多くの人に使われる施設など、さまざまな建物を対象に設計・監理を行うほか、アドバイザーとしてまちづくりに関わり、建築空間の提案を行っています。

主な論文・建築設計・著書

- 現代日本の集合住宅における構成単位とその集合形式に関する研究
- 現代日本の住宅主室における居場所の構成
- 日本工業大学18号館（設計）
- 建築構成学 建築デザインの方法（共著／実教出版）
- まちデザインゼミ 歩きながら考えた建築とフィールドの記録（共編著／総合資格）

地域連携活動

- 新田駅東口地区土地区画整理事業にともなう「まちなみモデル調整会議」アドバイザー（草加市）
- 宮代町立図書館テラスのベンチ制作（宮代町）
- 親子の居場所「元気スタンド・ぷれいす」の設計および内装・家具制作（幸手団地）ほか